

活動報告

- 水生生物観察会(川西市里山体験学習)
- 河川環境の出前授業(池田市立神田小学校)
- 猪名川の水質調査・水辺の安全講習(いながわプロジェクト)

- ピックアップ** ● 小戸井堰・小戸井(おおべいせき・おおべゆ)

数珠つなぎインタビュー

- 「五月山自然観察インストラクター連絡会」

お知らせ

- 新しい河川レンジャー協力員が就任
- FMあまがさき 出演
- 第11弾 猪名川のい〜な！作品募集



活動報告

水生生物観察会(川西市里山体験学習)

6月30日(木)、7月7日(木) 知明湖キャンプ場で実施
川西市教育委員会からご依頼で、水谷河川レンジャーが清和台小学校と久代小学校の里山体験学習の講師をしました。猪名川上流の知明湖キャンプ場の小川で、水生生物の捕獲・観察と水生生物による水質判定の体験をしました。



水谷河川レンジャーより一言

始めは捕まえられない！と言っていた子ども達も終わりにには魚捕りマスター。自然との触れ合い、楽しんでもらえました。



水谷河川レンジャー

河川環境の出前授業

(池田市立神田小学校)

7月15日(金) 猪名川河川敷で実施
池田市立神田小学校で大東河川レンジャーと水谷河川レンジャーが、猪名川の自然環境の出前授業をしました。猪名川の水質がキレイなことを、川の観察と水質調査で確かめ、川に棲む生き物を説明して観察体験もしました。



猪名川の水質調査・水辺の安全講習

(いながわプロジェクト)

7月16日(土) 猪名川運動公園で実施
池田みどりスポーツ財団が主催する「いながわプロジェクト」の第4回目の講座で、大東河川レンジャーが講師をしました。親子20名に、川で安全に遊ぶための注意事項と、猪名川の水質の昔から今日までの変遷を講義し、実際の水質を調査しました。

大東河川レンジャーより一言

『いなぶろ』の瀬島館長スタッフの皆様も猪名川を進化させて未来へ繋いでいく、同じベクトルを1+1=2以上となる活動を続けていきたいです。



大東河川レンジャー

ピックアップ

小戸井堰・小戸井

昭和三十八年(1953年)8月、鶯の森駅(能勢電鉄妙見線)が新設されました。



今西 純朗 氏
(元河川レンジャー協力員)

同日、駅前に猪名川の「小戸井堰(おおべいせき)」を利用した鶯の森遊泳場が開設されました。貸しボート・脱衣所・ヨシズ張りの休憩所・売店なども多く造られ、大いに賑わっていました。残念ながら、昭和34年(1959年)9月、伊勢湾台風により施設が流失し、閉場されました。この頃は、猪名川が日常的に天然プールとなり、水泳や水遊び、学校の水泳授業にと人々に親しまれていました。



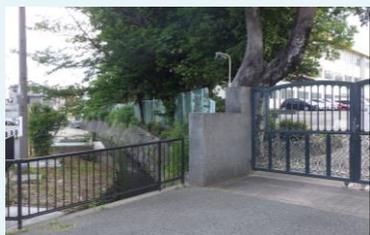
※地理院地図(https://maps.gsi.go.jp/)の色調を加工し、現況河道や地点名などを重ねて作成。



1958年(昭和33年)の鶯の森遊泳場
(出典:NPO法人川西再発見、流域ネット猪名川『写真が語る猪名川今むかし』, 2010, p16)



小戸井堰・小戸井



川西北小学校東側(正門付近)の水路



キセラ川西せせらぎ公園の水路

小戸井堰とは、小戸村を含む8ヶ村(川西市内)への農業用水を引くために整備された井堰です。引水地点から各村々への用水路を小戸井(おおべゆ)と呼びます。慶安3年(1650年)にはじめて定堰がつけられました。水田の拡充につれて用水が不足するようになり、元禄7年(1694年)に、猪名川の両岸を結ぶ定堰が設けられました。全面定堰化により木材流しが厳しい状況にあったことが想像されます。現在では、水田の減少に伴う住宅地の拡大等々によりほとんどが暗渠になっていますが、川西北小学校東側、キセラ川西せせらぎ公園などでは猪名川の分流とも言える水の流れを見ることが出来ます。
(文:今西 元河川レンジャー協力員)

第23回数珠つなぎインタビュー 「五月山自然観察インストラクター連絡会」

猪名川流域で活躍する団体をリレー形式で紹介していきます。

今回は大東河川レンジャーが五月山自然観察インストラクター連絡会を訪問し、代表の大竹さんにお話を伺いました。(令和4年6月25日実施)

■設立の趣旨などを教えてください

「池田市には五月山や猪名川などの良い自然環境がある。もっと市民の皆さんに知ってもらうためには自然観察会をしたらよい」と、1996年4月にスタートしました。メンバーは現在15名。講習会等を卒業した人が会員になり、得意なことを生かして活動しています。

■どのような活動をしていますか？

主に「自然観察会の講師」「自然環境の啓発」「会員の勉強会」等を行っています。
【自然観察会の講師】五月山、余野川、猪名川をフィールドに、池田市緑のセンター主催の『池田自然観察会』(毎月1回)の講師をしています。子供から大人までを対象に、フィールドでの植物・鳥・魚などの自然観察や室内での工作など、季節に合ったテーマで行っています。その他、市内の小中学校や団体の依頼を受けて自然観察の指導もしています。

【自然環境の啓発】『池田自然観察会』の開催結果をまとめた『池田・しぜんのたより』(発行・五月山都市緑化植物園)の寄稿や編集をし、参加者などに配布しています。また、五月山の自然を知ってもらうために、「樹木・草花のマップ」や「花ごよみ」の作成や、散策路沿いへの「樹名札」の設置、池田市主催の『池田の自然展』でのパネル展示などを行っています。
【会員の勉強会など】会員相互の研鑽のために、毎月1回、五月山と猪名川・余野川で植物や鳥の観察会をしています。

こうした活動を20数年間継続して行っており、他の諸団体等とも連携しながら、地域の方々に池田の自然の良さをお伝えしています。

■活動で大切なことは？

『体験』することが基本です。自然観察会で、「こんなん初めて」「知らなかったの声をよく聞きます。図鑑で見ただけではわからない手触りや大きさ等を体験によつて感じてもらうことを大切にしています。

自然に触れながら、ひとつずつ小さな感動を積み重ねていくことが、やがて大きな感動につながると思います。

■今後の活動の課題は何ですか？

一番の課題はメンバーの高齢化です。今までやってきた思いを継いでくれる新しい世代、バトンを渡していける若い人がいないのが一番のネックです。また、自然観察会の内容が繰り返しになっているため、工夫が必要だと感じています。



池田自然観察会の様子
(五月山自然観察インストラクター連絡会提供)



大東河川レンジャー インタビューの様子

■最後に読者のメッセージをどうぞ

五月山や猪名川など、身近に素晴らしい自然があります。皆さんにこの良さをもっと知ってもらいたいと思います。まずは、五月山や猪名川に足を運んでください。ぜひ『池田自然観察会』にも参加してください。



五月山の散策路沿い

大東河川レンジャーより一言

私も観察会に子供と参加しましたが、貴重な楽しい経験ができました。会のみならず自然を愛する雰囲気がいじみ出ています。最後に大竹さまの名言を、「小さな感動の積み重ねが大きな感動となる」これからも愛する樹木のように美しき年輪をいつまでも積み重ねていただければと思います。



大東河川レンジャー

お知らせ

新しい河川レンジャー協力員が就任

今年5月より、新たに中川陽介河川レンジャー協力員が加わりました。猪名川河川レンジャーは、河川レンジャー5名、協力員2名の体制となりました。今後どうぞよろしくお願ひします。

中川河川レンジャー協力員「挨拶



奈良県で生まれ育ち、小さな頃から父母、兄弟とよく川へ遊びに行きました。今は小学2年生、2歳の息子、妻とともに猪名川に出かけ、魚、虫を捕まえたり、泳いだり。本当に川と共に週末を過ごす日々です。今ある猪名川の環境に感謝しつつ、ずっとみんなが楽しめる場であってほしいと思います。これからレンジャーの皆さんと共に活動させていただき、学びながら何か少しでも力になれたらと思っています。よろしくお願ひします。

FMあまがさき出演

7月8日(金)

志築河川レンジャーが、「FMあまがさき」の「モーニングアベニュー」に出演し、河川レンジャーの紹介と地域の皆さんが猪名川に関心を持つことの重要性をお伝えしました。特に、防災については災害に係る情報の入手と平時からの備えの大切さをお話ししました。

志築河川レンジャーより一言

FMあまがさきが、今年度で閉局します。今までFMで河川災害情報など入手していた方々は河川情報入手方法を新たにチェックしてください。



志築河川レンジャー

第11弾 猪名川のい〜な！作品募集

猪名川の魅力を伝える写真と絵画を募集しています。詳しくは、作品募集チラシ、または、Webサイトをご覧ください。応募作品はWebサイトで順次公開中。



昨年の受賞作品



猪名川河川レンジャー

Webサイト <http://www.iranger.jp/>
メールアドレス info@iranger.jp

<https://www.facebook.com/InagawaRanger> Webサイト facebook

facebookでは、猪名川河川レンジャーの活動内容のほか、猪名川で見つけた自然や文化などを紹介しています。

猪名川河川レンジャーに関するお問い合わせは、Web サイトまたはメールアドレスをご利用いただくか、猪名川河川事務所 工務課までご連絡下さい。

猪名川河川事務所 工務課
池田市上池田2丁目2番39号
TEL:072-751-1111(代表)

新たな
河川レンジャーも
募集中です！